

平成二十五年上期 監査資料を提出

理事十一名、監事四名の出席のもと、次の協議事項を審議し可決承認した。
主な協議内容並びに結果は次のとおり。

協議一

平成二十五年上期仮決算状況と決算資料の監事への提出

▼平成二十五年上期の業務執行状況と仮決算状況をまとめた「平成二十五年上期業務報告書」の監事会への提出を決定した。

報告事項

- 一 子会社「山陽乳業(株)」の経営検討会並びにリスク分散に関する事
- 二 中国生乳販連における最近の状況
- 三 生乳需要期対応酪農経営向上対策事業(3M事業25)の現地買付等の進捗状況
- 四 TMRセンター統合整備工事に関する進捗状況並びに飼料イネ確保に向けての行動
- 五 リース事業の事務取次ぎ
- 六 MILK●Japan Inひろしま開催による牛乳・乳製品の消費拡大&理解醸成運動

10/24 みわTMRセンター

「みわTMRセンター統合整備事業」中間検査終わる

広島県による「みわTMRセンター統合整備事業」にかかる建築工事並びに電気設備工事の中間検査が行われた。検査は広島県農林畜産関係事業建築物等設計審査嘱託員の吉田武昭氏と大津健作氏によって行われ、広島県畜産課職員三名も立会された。

当日は台風の影響もあり、強風と大雨で現地検査は困難な状況であったが、申請書や設計書等の書類審査、現地での建築物の確認や実測検査においては問題は無く、無事検査を終えることが出来た。



(悪天候の中での現地実測検査)



(書類審査の様子)

○今月の表紙

▼今年は、夏から冬に季節は一転し秋の期間が例年に無く短かったように感じますが如何でしょうか。

▼十月は「五穀豊穡」に感謝する収穫祭や、氏神社の秋祭りなど各地で行われたものと思いません。

▼表紙写真は、古の戦国時代「山城」に植樹されたと語り継がれる御神木「アベマキ」をショットしました。

▼アベマキの根本に人に並んでもらい、写真におさめればその大きさが良く分かるのですが、この配慮に欠けたことをお許し願います。

▼推測で大人六人が手を広げてやっと届くほどの大木で、改めてその生命力に驚かされます。

▼アベマキは、ブナ科コナラ属の落葉高木。コルククヌギとも云われ、樹皮に厚いコルク層が形成されるのが特徴で古くは瓶の蓋などに活用されたと云われます。

▼この巨木の葉が風に揺れ、太陽光を浴びる様子を眺めていると、葉が奏でる音とともに心穏やかに魅了されます。

▼四季折々の樹木、特に落葉樹は様々な姿を見せてくれます。

▼アベマキの一年間を追って、日々同じ時間帯に同じ場所から写真におさめてみたいと思いますが、現実には不可能に近いことでしょうね。(笑)

(撮影 A・N)